

ご意見の内容及びご意見に対するご回答

意見提出元：アズビル金門株式会社

No	該当箇所	ご意見の内容	ご回答
1	「I. スマートメーター通信ネットワーク検討の前提条件」(4ページ)	<p><意見内容></p> <p>スマートメーター通信ネットワーク「A ルート」に東京電力様以外の事業者(水道、ガス)のスマートメーター情報も重畳し伝送を可能とする機能を実装することをお願いしたい。</p> <p>※「A ルート」・・・電力等の通信ネットワーク、Web 経由による取得(平成23年2月スマートメーター制度検討会資料27ページより)</p> <p>1. 「水道、ガスメータデータ収集技術」について</p> <p> コンセントレータは、東京電力様のスマートメーターに加え、水道やガスのスマートメーターも同様に収容可能であることが望ましい。そのためにも、各社のスマートメーター同士が互いに無線マルチホップネットワーク構成で接続し合う仕様であることが望ましい。</p> <p><期待する効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・同様な無線方式を用いるスマートメーターの増加による、無線通信装置部分のコスト低減 ・マルチホップ端末が増えることによる、不感地帯の減少(中継場所の増加) <p>2. 「仮想ネットワーク技術適応」について、</p> <p> コンセントレータで集約した各事業者のデータは、「仮想ネットワークサービス」を利用し、データ振り分け第三者機関によりスマートメータのデータが各事業者ごとに振り分けられるような形態であることが望ましい。</p> <p><期待する効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンセントレータよりWAN 側を他事業者と共用することによる、通信コスト削減 ・仮想ネットワーク及び第三者機関の利用によるセキュアなデータ伝送及び各事業者へのデータ振り分け 	<p>コストミニマム化の観点から、ガスや水道等の他ユーティリティ事業者などとの通信インフラ共用について、各事業者と連携の上、検討してまいります。</p>

		<p><理由> 実現根拠資料は別添1, 2, 3のとおり。</p>	
--	--	---	--